

令和7年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第2号

令和7年6月11日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の管理のポイント

- 水深3cm程度の浅水で管理し、有効茎数確保まで分けつの発生を促しましょう。
- 雑草の発生が多い場合は、中・後期剤による除草を行いましょう。
- 補植用残苗は、いもち病発生の原因になるので、速やかに処分しましょう。

1 気象の概況

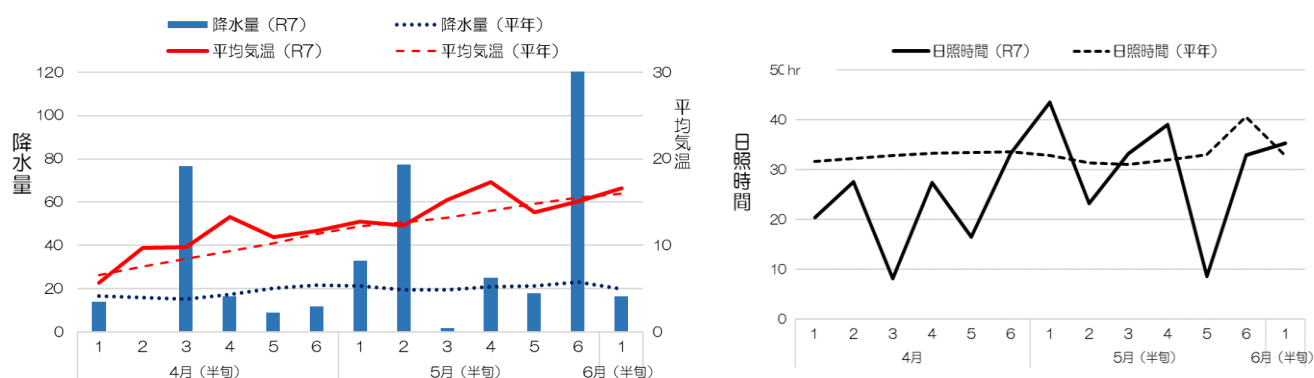


図1 気象経過図（気仙沼アメダス、半旬ごと）

2 管内の播種・田植えの状況

(1) 播種状況

播種盛期は前年より1日遅く、平年より1日遅い4月15日となりました。育苗期間中に気温が高い日があり、一部で苗に高温障害がみられました。

(2) 田植え状況

田植盛期は前年と同じで、平年より1日遅い5月18日となりました。週末に雨の降る日が多くありましたが、ほぼ平年並に田植えが進みました。

表1 管内の播種・田植えの状況

気仙沼 管内全体	播種状況			田植え状況		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
R7	4/6	4/15	4/25	5/9	5/18	5/27
前年差	1日早い	1日遅い	3日遅い	前年並	前年並み	2日遅い
平年差	2日遅い	1日遅い	3日遅い	1日早い	1日遅い	1日遅い

※「始期」は作付見込面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期

※「平年差」は前5カ年の平均値との差

3 水稻生育調査ほの生育概況

- ・田植え後の5月下旬に最高気温が20℃に達しない日もありましたが、概ね目標とする生育量を確保しています。

表2 生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名	年	田植日	栽植密度 (株/㎡)	植付本数 (本/株)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ	R7	5/14	19.3	3.8	27.2	295.3	43.5
気仙沼市本吉町	前年比・差	-6日	104%	83%	114%	169%	115%

※生育調査ほの見直しにより、令和6年度から管内の調査ほは1か所となり、ほ場（担当農家）を変更しています。このため、前年比・差はありません。

4 今後の栽培管理

（1）水管理

- ・田面が露出しているほ場が散見されます。活着後は水深3cm程度の浅水で管理し、分げつの発生を促しましょう。
- ・低温（平均気温が概ね14℃以下）や強風が予想される場合には、5～6cm程度の深水としましょう。
- ・生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、還元状態となるため、稲に有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。中干しや一時的な落水などで土壌中に酸素を供給し、根腐れを防ぎましょう。

（2）雑草防除

- ・初中期一発剤を散布したほ場でも、水持ちが不十分だったり、埋土種子や多年生雑草の塊茎などが多いと雑草が発生してきます。生長が進むと除草剤の効果が得られなくなるため、雑草の種類や葉齢を確認し、中・後期剤等を適期に施用しましょう。
- ・ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せます。雑草対策を徹底し、斑点米による落等を防ぎましょう。

（3）病虫害防除

① いもち病

- ・宮城県病虫害防除所が6月4日に発行した発生予察情報第3号によると、葉いもちの発生量は「平年並」と予報されています。
- ・補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。6月に入っても残苗のあるほ場が散見されますので、速やかに処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤（粒剤、パック剤）を初発の6月中旬頃までに散布しましょう。
- ・箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。

- ・葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。予防防除が基本であり、発病が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見と早期防除に努めましょう。

※発生予報については、宮城県病害虫防除所が公表している「葉いもち感染好適条件の出現状況（BLASTAM（ブラスタム）」）も参考にしてください。

（URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>）



宮城県病害虫
防除所
BLASTAM

【BLASTAMとは】

アメダスデータを基に葉いもち感染好適日を推定するシステムモデルです。いもち病の胞子が発芽、感染するためには次の条件が必要です。

- 1 葉面湿潤時間が 10 時間以上
- 2 葉面湿潤時間中の平均気温が 15℃～25℃
- 3 前 5 日間の平均気温が 20℃～25℃

これら 3 つの条件が全て満たされると、いもち病の感染に好適な条件となります。感染好適条件が連続し県内広域で出現した場合、約 2 週間後に葉いもちの発病の増加が始まります。水田を見回り、発生に注意してください。

② イネドロオイムシ

- ・箱施用剤（殺虫剤）を使用しなかった場合は、以下の要防除密度を目安に、ふ化盛期（平年で 6 月第 3 半旬）に防除しましょう。

【要防除密度】

侵入盛期（平年で 6 月第 1 半旬）の成虫数：100 株当たり 25 頭、
又は卵塊数：10 株当たり 8 個

5 「金のいぶき」の栽培管理

（1）調査ほでの生育状況

- ・田植えが 5 月 30 日と遅かったため、分げつの発生が始まったばかりです。
葉緑素計（グリーンメーター）による葉色は、まだ葉の幅が狭く測定不能でした。

表 3 生育調査結果（6 月 10 日調査）

品 種 地区名	年	田植日	栽植密度 (株/㎡)	植付本数 (本/株)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色値 (GM)
金のいぶき 気仙沼市本吉町	R7	5/30	16.2	4.6	20.1	74.5	—
	前年比・差	-2 日	85%	112%	103%	91%	—
	平年比・差	+11 日	84%	108%	83%	38%	—

※令和 3 年から設置のため、平年値は令和 3～6 年度の 4 か年平均の値。

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

（2）今後の栽培管理（基本的な栽培管理は、前述「4 今後の栽培管理」参照）

- ・「金のいぶき」は、茎数を確保しにくい品種です。今年は、田植えが遅い傾向が見られましたので、適正な水管理（浅水管理）により分げつの発生を促しましょう。
- ・「金のいぶき」は、いもち病に弱い品種です。箱施用剤に加え、水面施用剤による防除を実施しましょう。

6 乾田直播栽培

(1) 調査ほでの生育状況

- ・ 苗立率は、前年より高い 67.7%となりました。
- ・ 前年より平均気温が低く推移したため、出芽が前年より遅れ、茎数は前年より少なくなっています。
- ・ 葉緑素計（グリーンメーター）による葉色は、まだ葉の幅が狭く測定不能でした。

表4 生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名	年	播種日	苗立率 (%)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (GM)
ひとめぼれ	R7	3/27	67.7%	18.7	85.8	—
気仙沼市本吉町	前年比・差	+2日	118%	93%	86%	—

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

(2) 今後の栽培管理（基本的な栽培管理は、前述「4 今後の栽培管理」参照）

- ・ 雑草の発生状況を確認し、雑草が小さいうちに除草剤を散布しましょう。
- ・ 除草剤の選定に当たっては、雑草の種類や葉齢、使用時期を確認し、適正に使用しましょう。
- ・ 分けつを促進するため、水深を2～3cmの浅水管理としましょう。

7 東北地方の1か月予報（令和7年6月5日 仙台管区气象台発表）

【予報のポイント】

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

向こう1ヶ月の天候は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

農業作業中の熱中症を予防しましょう。今年の夏も暑くなると予想されています。

予防のポイント

- ・ 暑さを避ける
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業
- ・ 単独作業は避ける
複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとりあう
- ・ こまめな休憩と水分補給
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給
- ・ 熱中症対策アイテムの活用
帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

（参考）農林水産省熱中症対策

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html

宮城県農薬危害防止運動実施中（6／1～8／31）

- ・ 農薬容器のラベルをよく読みましょう
- ・ 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理をしましょう
- ・ 住宅地等で農薬を使用する際には、周辺への配慮及び飛散防止対策をしましょう
- ・ 農薬の保管管理を徹底しましょう

（参考）農薬は正しく使いましょう（宮城県農政部みやぎ米推進課HP）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/nouyaku.html>

（次回の稲作情報第3号は、6月23日頃の発行を予定しています。）